

平成24年度 第3回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会

事 項 書

平成24年 9月 6日(木)

18:00～21:00

伊勢市二見生涯学習センター 1階ホール

1 あいさつ

2 報告事項

- (1) 第2回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の協議内容について

3 議事

- (1) 伊勢志摩地域の県立高等学校の魅力化・特色化について

- (2) 伊勢志摩地域の中学生等に対するアンケート(案)について

- (3) 伊勢志摩地域の県立高等学校の今後のあり方について

- (4) その他

3 連絡事項

○次回(第4回)協議会

平成24年10月 2日(火) 18:00～21:00

【伊勢市生涯学習センター いせトピア】

平成24年度 第3回伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会 座席表

平成24年 9月 6日(木)

18:00~

伊勢市二見生涯学習センター

		副会長 中谷委員	会長 織田委員		
南島中学校教諭 越賀委員					神島中学校長 浅井委員
片田中学校長 森岡委員					明野高等学校教諭 池田委員
伊勢市教育長 宮崎委員					伊勢工業高校PTA 内田委員
志摩市教育長 代理 小川指導主事					三重県商工会連合会 小河委員(欠席)
度会町教育長 藤田委員					鳥羽市教育長 斎藤委員
答志中学校PTA 濱口委員					和具中学校教諭 助田委員
		伊勢商工会議所 中村委員	志摩市PTA連合会 中地委員	南伊勢町教育長 仲委員	大湊小学校PTA 須永委員
				度会郡PTA連絡協議会 代理 南勢中PTA 萩原会長	
【県教育委員会】					
教育総務課 辻 成尚	教育総務課副室長 寺 和奈	教育改革推進監 加藤 幸弘	県教育委員会 小野副教育長	高校教育課長 倉田 裕司	教育総務課 久野 嘉也
					教育総務課 宇陀 和彦

資料1

伊勢志摩地域 中学校卒業者の推移と予測 (含社会増)

〈H24.5.1現在〉

	H 15.3 卒業	H 21.3 卒業	H 22.3 卒業	H 23.3 卒業	H 24.3 卒業	H 25.3 現中3	H 26.3 現中2	H 27.3 現中1	H 28.3 現小6	H 29.3 現小5	H 30.3 現小4	H 31.3 現小3	H 32.3 現小2	H 33.3 現小1
伊勢市	卒業者数	1,302	1,375	1,320	1,300	1,264	1,228	1,238	1,237	1,212	1,195	1,177	1,103	1,066
	前年度対比 H24.3対比		73	-55	-20	-36	-36	10	-1	-25	-17	-18	-74	-37
度会郡	卒業者数	552	498	442	484	458	434	421	442	427	390	378	366	311
	前年度対比 H24.3対比		-3	-56	42	-26	-24	-13	21	-15	-37	-12	-12	-55
鳥羽市	卒業者数	294	223	215	217	190	209	188	155	183	184	147	131	157
	前年度対比 H24.3対比		21	-8	2	-27	19	-21	-33	28	1	-37	-16	26
志摩市	卒業者数	653	608	531	557	535	525	460	459	443	429	389	387	318
	前年度対比 H24.3対比		58	-77	26	-22	-10	-65	-1	-16	-14	-40	-2	-69
小計	卒業者数	3,099	2,704	2,508	2,558	2,447	2,396	2,307	2,293	2,265	2,198	2,091	1,987	1,852
	前年度対比 H24.3対比		149	-196	50	-111	-51	-89	-14	-28	-67	-107	-104	-135
県内合計	卒業者数	20,468	18,608	17,950	18,224	18,122	18,326	17,728	17,867	17,503	17,427	16,842	16,472	15,719
	前年度対比 H24.3対比		382	-658	274	-102	204	-598	139	-364	-76	-585	-370	-753

伊勢市内高校 (県立全日)	学級数(募集)	31	32	30	31									
	欠員	8	0	26	31									
伊勢以外高校 (県立全日)	学級数(募集)	14	15	13	13									
	欠員	126	22	94	97									
伊勢地区高校 (県立全日)	学級数(募集)	45	47	43	44									
	欠員	134	22	120	128									
県内(県立全日)	学級数(募集)	331	337	324	327									
	欠員	222	63	270	299									

(私立、高専入学者の状況)

皇學館	募集	345	355	345	345									
	入学者数	380	323	362	376									
伊勢学園	募集	230	230	220	230									
	入学者数	285	224	249	255									
鳥羽商船	募集	120	120	120	120									
	入学者数	132	137	125	125									
3校の欠員数(合計)		-62	21	-51	-61									

4 高校は、学ぶ内容によって、次のように3つに分けることができます。これらの3つのうち、あなたはどの高校に進学したいですか。一つだけ選び、①～③の記号を○で囲んでください。

なお、「② 専門学科の高校」を選んだ場合は、希望する学科を一つ選び、ア～ケの記号を○で囲んでください。

① 普通科の高校・・・中学校で学んだ国語や数学などの「普通教科」の学習を深める高校です。

② 専門学科の高校・・・工業・商業・農業・水産などの職業に関する専門的なことを学習する高校です。

ア 農業 イ 工業 ウ 商業 エ 水産 オ 家庭 力 看護 キ 情報
ク 福祉 ケ 未定

③ 総合学科の高校・・・いろいろな選択科目の中から、自分の興味や将来なりたい職業を考えて授業を選ぶことができる高校です。

5 あなたは高校でどんなことを学びたいと思っていますか。また、どんなことに取り組みたいと思っていますか。自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

4 高校は、学ぶ内容によって、次のように3種類の高校に分けることができます。これらの3つの高校のうち、あなたのお子さんにどの高校への進学をすすめたいと思いますか。一つだけ選び、①～③の記号を○で囲んでください。

なお、「② 専門学科の高校」を選んだ場合は、希望する学科を一つ選び、ア～ケの記号を○で囲んでください。

① 普通科の高校・・・中学校で学んだ国語や数学などの「普通教科」の学習を深める高校です。

② 専門学科の高校・・・工業・商業・農業・水産などの職業に関する専門的なことを学習する高校です。

ア 農業 イ 工業 ウ 商業 エ 水産 オ 家庭 カ 看護 キ 情報
ク 福祉 ケ 未定

③ 総合学科の高校・・・いろいろな選択科目の中から、自分の興味や将来なりたい職業を考えて授業を選ぶことができる高校です。

5 あなたはお子さんに、高校で「どのような力」を身に付けてほしいと思っていますか。また、高校で「どんなこと」に取り組んでほしいと思っていますか。自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

※ 伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の開催案内・会議結果及びこれまでの「協議のまとめ」等については、三重県教育委員会のWebページでお知らせしています。

○開催案内・会議結果

→ http://www.pref.mie.lg.jp/kyoiku/hp/kyo_so/shingi/shiic.htm

○これまでの「協議のまとめ」等

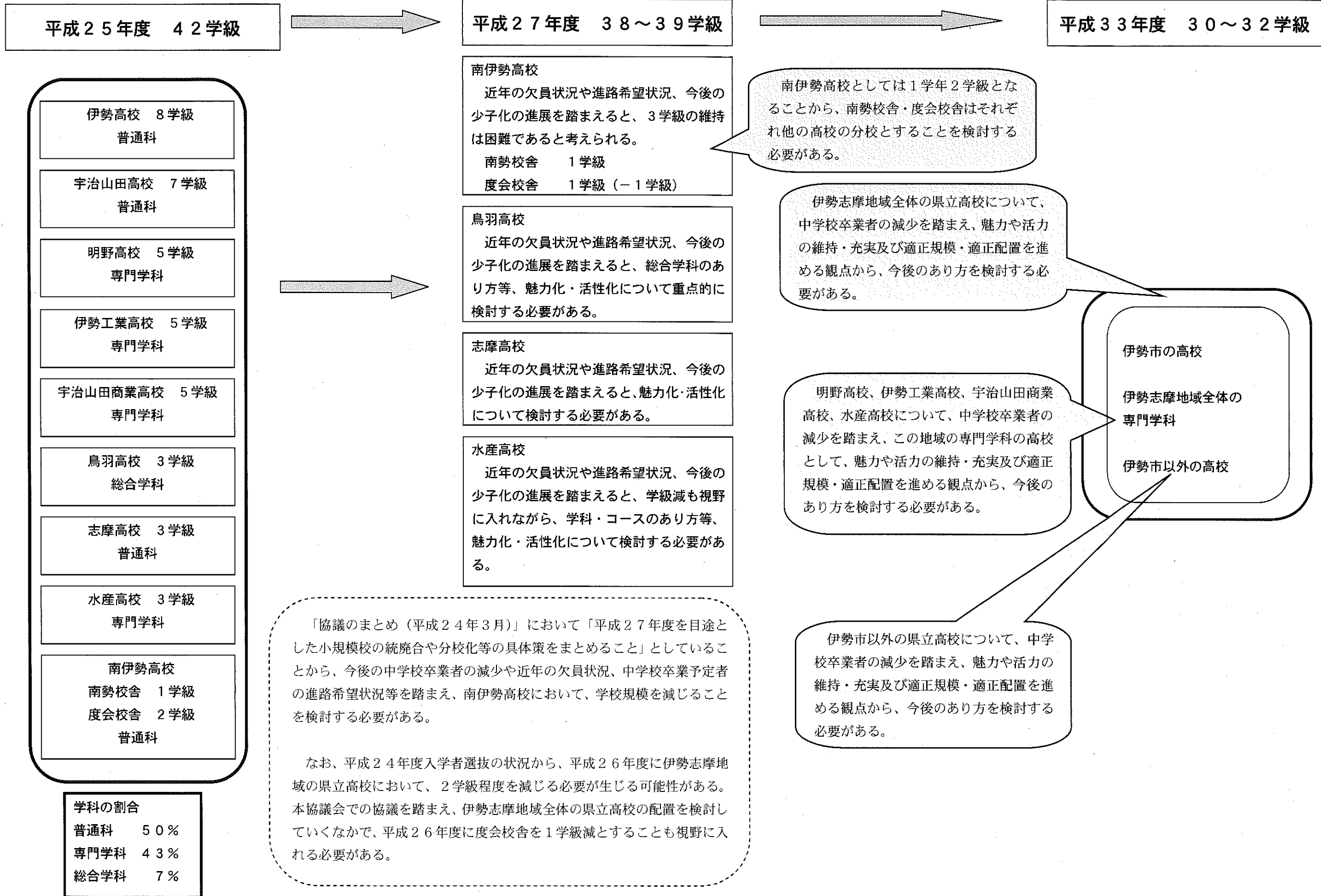
→ <http://www.pref.mie.lg.jp/KYOKAI/HP/saihen/tiiki.htm>

※ このアンケート及び伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会についての問い合わせ先

○協議会事務局：三重県教育委員会事務局 教育総務課 教育改革グループ

TEL：059-224-2951 FAX：059-224-2319

伊勢志摩地域の県立高等学校（全日制）の今後のあり方について（案）



平成23年度伊勢志摩地域高等学校活性化推進協議会の「協議のまとめ」

平成24年3月 教育改革室

1 少子化の状況について

伊勢志摩地域の中学校卒業生数は、平成23年3月には2,508人でしたが、平成27年3月には2,308人となり、200人（4～5学級）程度減少することが見込まれています。平成32年3月には2,006人となり、平成23年3月と比べ、500人（約10学級）程度減少することが見込まれています。

このことから、平成27年度の伊勢志摩地域全体の県立高等学校の学級数は、平成23年度（43学級）より4～5学級程度減少し、38～39学級程度とすることが予想されます。具体的な状況は次のとおりです。

- (1) 伊勢市内地域は、これまでの生徒の希望状況や各地域の少子化の状況等を考慮に入れ、27～29学級程度が見込まれます。
- (2) 鳥羽・志摩・南伊勢地域は、これまでの生徒の希望状況や各地域の少子化の状況等を考慮に入れ、9～11学級程度が見込まれます。

また、平成32年度の伊勢志摩地域全体の県立高等学校の学級数は、平成23年度（43学級）より9～11学級程度減少し、32～34学級程度とすることが予想されます。具体的な状況は次のとおりです。

- (3) 伊勢市内地域は、これまでの生徒の希望状況や各地域の少子化の状況等を考慮に入れ、23～26学級程度が見込まれます。
- (4) 鳥羽・志摩・南伊勢地域は、これまでの生徒の希望状況や各地域の少子化の状況等を考慮に入れ、7～10学級程度が見込まれます。

2 今後の方向性

子どもたちの学習ニーズに応じた多様な選択科目を開設し活力ある教育活動が展開できること、学校行事等の諸活動が円滑かつ効果的に実施できることなどの観点から、高等学校には一定の規模が必要です。

今後、伊勢志摩地域では、中学校卒業生数が大幅に減少しますが、単純に高等学校の学級数を減じるだけでは、学校としての活力低下につながるおそれがあります。

特に、現在、南伊勢高等学校、鳥羽高等学校、志摩高等学校、及び水産高等学校の4校は、1学年3ないし4学級規模であること、また近年定員を満たせないこともあり、これ以上学級数を減じると、適正規模の維持が困難な状況にあります。

また、上記4校以外の学校においても、学級減を続けると、生徒の多様なニーズに対応した学習環境を提供することが難しくなる可能性があります。

こうした点を踏まえ、伊勢志摩地域の県立高等学校の魅力化・活性化をはかり、子どもたちがこれからもいきいきと学ぶことができる学習環境を整えるため、平成24年度は、伊勢志摩地域全体における高等学校のあり方について、普通科と専門学科の割合、普通科と専門学科及び総合学科のあり方、当地域における高等学校の配置などの視点から総合的に検討するとともに、平成27年度を目途とした小規模校の統廃合や分校化等の具体策をまとめます。